

# いまさら聞けない基礎知識 ～ 目薬のさし方～

## 目薬のさし方

1. 手をきれいに洗う
2. まぶたを手で開く
3. 目薬の先端をまつげなどにつけないようにして目薬を  
1滴～2滴さす
4. まぶたを閉じて目頭を軽く押さえる

## 解説

1は2をするときに眼が細菌で汚染されるのを防ぐためです  
3も同様に先端を汚染から守るためです。また目薬の滴下数も眼の中に入る液量は決まっている(結膜嚢内最大容量30 $\mu$ l)のでたくさん入れてもよく効くわけではありません。(目薬1滴が約30～50 $\mu$ lです)

ほとんどがあふれでてしまいます。

4で目頭を軽く押さえるのは全身への副作用を抑えるためです。

# 複数の点眼薬を使用するとき

## 投与間隔

基本的には五分以上間隔をあけて使用するようになしてください。  
油性、ゲル化するものは10分以上間をあける。

## 目薬を使う順番

同じ水性同士の薬剤の使用でしたら、効かせたいものを後に使用したほうがよいとされています。

懸濁性の点眼液は水に溶けにくいので水性の後に使用するようになる。

眼軟膏、油性点眼液やゲル化する点眼液は最後に使用するようになる。

## 目薬の使用期限

特に開封後の使用期限のないものは1ヶ月を目安にしようとする。

参考資料: 薬剤師のための服薬指導ガイド 第2版

和田 攻 朝長 文彌 株式会社 文光堂  
臨床で役立つ 薬効別 服薬指導マニュアル

田中 良子 株式会社 薬業時報社  
症例チャートからみる服薬指導ガイド2005-06

- 薬学的管理とその解説 -

財団法人日本薬剤師研修センター 株式会社 南山堂